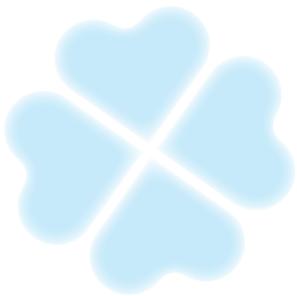


独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター
看護職員募集案内



*Osaka national Hospital
Department of
Nursing*



Message

ともに楽しみながら
看護の道を歩みましょう



大阪医療センター
院長

松村泰志

看護師は、医療チームの一翼を担い、医師、薬剤師、技師等の他の医療職と連携して医療を進めます。病名、薬剤名、検査名、機器名などの専門用語が飛び交う、とてもクールな仕事です。一方、看護師は医療職の中で患者さんに最も近いところに居り、患者さんに寄り添い、不安を和らげ、心の支えになる役割を担い、人としての温かみが求められます。なかなか奥の深い難しい仕事ですが、意義のある崇高な仕事です。是非、ともに楽しみながら、看護の道を歩いていきましょう。

大阪医療センターの理念

私たち、大阪医療センターの職員は

- 1 医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2 透明性と質の高い医療を、分け隔てなく情熱をもって提供します。
- 3 医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。

常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

”笑顔“のあるケアの
実践をめざしています



国立病院が担うミッションである
「政策医療」の看護を実践しています。

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部は、国立病院が担うべきミッションである「政策医療」の看護を実践しています。がんをはじめとする、循環器やHIV、救急救命、災害医療などの多様な看護に、日々取り組んでいます。

診断時から最期を迎える時までの全てのがん患者さんをご家族を対象としています。外来化学療法室や放射線治療部に認定看護師を配置し、がん治療を安全に実施できるよう関わっています。

がん看護

三次救急の指定病院であり、24時間体制で重症・重篤な救急患者の受け入れを行っています。主な疾病は、外傷、脳血管障害、心血管疾患、重症熱傷、急性薬物中毒など多種多様です。

救急看護

エイズ治療ブロック拠点病院として臨床研究、研修など近畿のエイズ治療の水準向上に努めています。

HIV看護

国立病院機構の「基幹災害拠点病院」として、大阪府で災害が発生した場合、入院患者さんを守りながら多数の傷病者を受け入れます。他県で災害が発生した場合はDMAT隊員や医療班として看護師を派遣しています。また、そのための訓練や研修を行い、実働できる人材の育成に力を入れています。

災害看護

循環器看護

母性看護
小児看護

循環器病棟にはCCUを併設しており、治療心不全急性期や心臓血管外科術後の急性期看護を行っています。心臓リハビリテーションでは、運動療法・患者教育を通じて心臓病の再発予防とQOL向上のための教育に力を入れています。

産科病棟では、妊娠中から育児期まで、幅広く継続的に母子やその家族をサポートする看護を行っています。小児病棟ではペルテス病や骨形成不全などの小児慢性特定疾患の長期入院となる患児が入院しています。患児自身が病気を受けとめ、治療や生活に前向きに進めるよう家族を含めた支援を行っています。

脳卒中看護

整形外科看護

脳卒中病棟ではSCU病棟を併設しており、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞の急性期から終末期と多岐に渡る看護を実践しています。早期リハビリテーションの視点を持ち、多職種と連携し退院支援や日常生活行動の再獲得に向けた援助を行っています。

膝・股関節、脊椎、骨・軟部腫瘍・小児整形といった様々な疾患に対して、手術・化学療法・放射線療法等の治療を目的に入院される患者さんに看護を提供しています。多様な疾患や幅広い年齢の患者さんを対象に、チーム医療を大切にサポートをしています。

病棟紹介

「患者さんに寄り添い、信頼される看護」
をめざして、病棟一丸で頑張っています

West

西11階 眼科・腎臓内科・総合救急

手術や透析など緊急治療が必要になることもあり、大きな不安を抱えて入院される患者さんや家族さんが多くおられます。



西10階 呼吸器内科・耳鼻咽喉科・口腔外科 皮膚科・形成外科

耳鼻咽喉科は慢性中耳炎や突発性難聴や顔面神経麻痺、歯科口腔外科では下顎歯肉がんによる腭骨皮弁術後の患者さんの看護を中心に行っています。



西9階 消化器外科・呼吸器外科・泌尿器外科

がんの患者さんが多く入院されています。緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、皮膚・排泄ケアチームなどの医療チームで治療内容や援助を検討し、ケアを実践しています。

西8階 感染症内科・糖尿病内科・血液内科 総合診療科・血友病科

主な疾患は、HIV/AIDS 糖尿病 悪性リンパ腫などです。内科疾患は、生涯付き合っていかなければならない疾患が多く、治療はもちろん、退院後の生活を考えた看護を大事にしています。



西7階 精神科

【患者さんが安心して社会復帰できること】を目標に、多職種で連携し、精神面・身体面への支援を行っています。

西6階 小児科・整形外科

小児が前向きに治療に取り組むことができるよう、保育士と連携し、様々なプレバレーションに取り組んでいます。また、季節行事を取り入れたケアを行っています。

西5階 産科・小児科・婦人科

妊娠から出産・産褥・育児に至るまで、退院後の生活について継続した支援や指導を行っています。入院中は母児同室を推奨し、退院後は、助産師外来にて、産褥期の乳房ケアや育児相談にも積極的に対応しています。

East

東11階 脳神経外科・脳内科 SCU(脳卒中集中治療室)

SCUでは脳卒中患者様の緊急入院を受け入れています。急性期医療の提供を行っています。また脳動脈瘤や脳腫瘍の手術や脳血管造影検査、手術や検査前後の患者さんの看護を行っています。急性期から回復期に向けたリハビリテーションを早期より行い、社会復帰へむけた援助を行っています。



東10階 消化器内科

消化管疾患や肝臓疾患の患者さんが多く入院されます。肝臓治療、他放射線治療や化学療法が行われます。また、慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの増悪を予防するための肝臓病教室を年6回開催しています。



東9階 消化器外科・呼吸器外科

手術目的で入院される患者さんの看護を行っています。悪性腫瘍が約8割以上を占め、手術のほかに化学療法や放射線療法、栄養管理、緩和ケア目的で入院される患者さんもおられます。

東7階 循環器科・心臓血管外科 CCU(冠動脈疾患集中治療室)

手術を受けられる患者さんの周手術期看護及び、循環器内科で、薬物療法や心臓カテーテルを受けられる患者さんの看護を行っています。CCUでは急性心筋梗塞・重症心不全・重症不整脈など、重症度の高い患者さんへの密度の濃い看護を提供しています。



東6階 整形外科

膝や股関節、脊椎、骨軟部腫瘍等の疾患で手術療法を受ける患者さんが9割を占めています。術後の患者さんに理学療法士と協働し、早期から日常生活動作自立の獲得に向けてリハビリテーションを行っています。

東5階 婦人科・乳腺外科・消化器科

乳腺外科・婦人科疾患のがん患者さんが、入院患者さんの75%を占めています。手術療法、化学療法、放射線療法などの治療を安心して受けられるよう支援しています。

フロア紹介

病棟名	主な診療科	病棟名	主な診療科
西11階	眼科・腎臓内科 総合救急科	東11階 SCU	脳神経外科 脳卒中内科
西10階	呼吸器内科・耳鼻咽喉科 口腔外科・皮膚科・ 形成外科	東10階	消化器内科
西9階	外科・泌尿器科	東9階	外科
西8階	糖尿病内科・感染症内科 血液内科・総合診療科	東8階	休棟
西7階	精神科	東7階 CCU	循環器内科 心臓血管外科
西6階	小児科・整形外科	東6階	整形外科
西5階	産科・婦人科・小児科	東5階	婦人科・乳腺外科 消化器科
4階	手術室・ICU	4階	中央材料室 人工腎室
3階	救命救急センター	3階	臨床検査科
2階	外来診療科 内視鏡検査 放射線診断科	2階	外来診療科 地域医療連携室
1階		1階	
地下1階	栄養管理室	地下1階	薬剤部
西病棟		東病棟	

最新の機器とチーム医療で 患者さんの命と健康に向き合っています

4階 手術室

15の診療科が12室に分かれて手術を行っています。年間の手術件数は約6,000件、三次救急の受け入れも積極的に行っています。



4階 ICU

各診療科の全身麻酔手術を受ける患者さん、病状が重症化し集中治療が必要な患者さんを受け入れています。

3階 救命救急センター

救命救急センターは、ICUとHCUを有し、一次から三次救急の対応・入院受け入れを行っています。対象となる疾患は、重症外傷・広範囲熱傷・脳疾患・心疾患・急性薬物中毒など多岐にわたります。



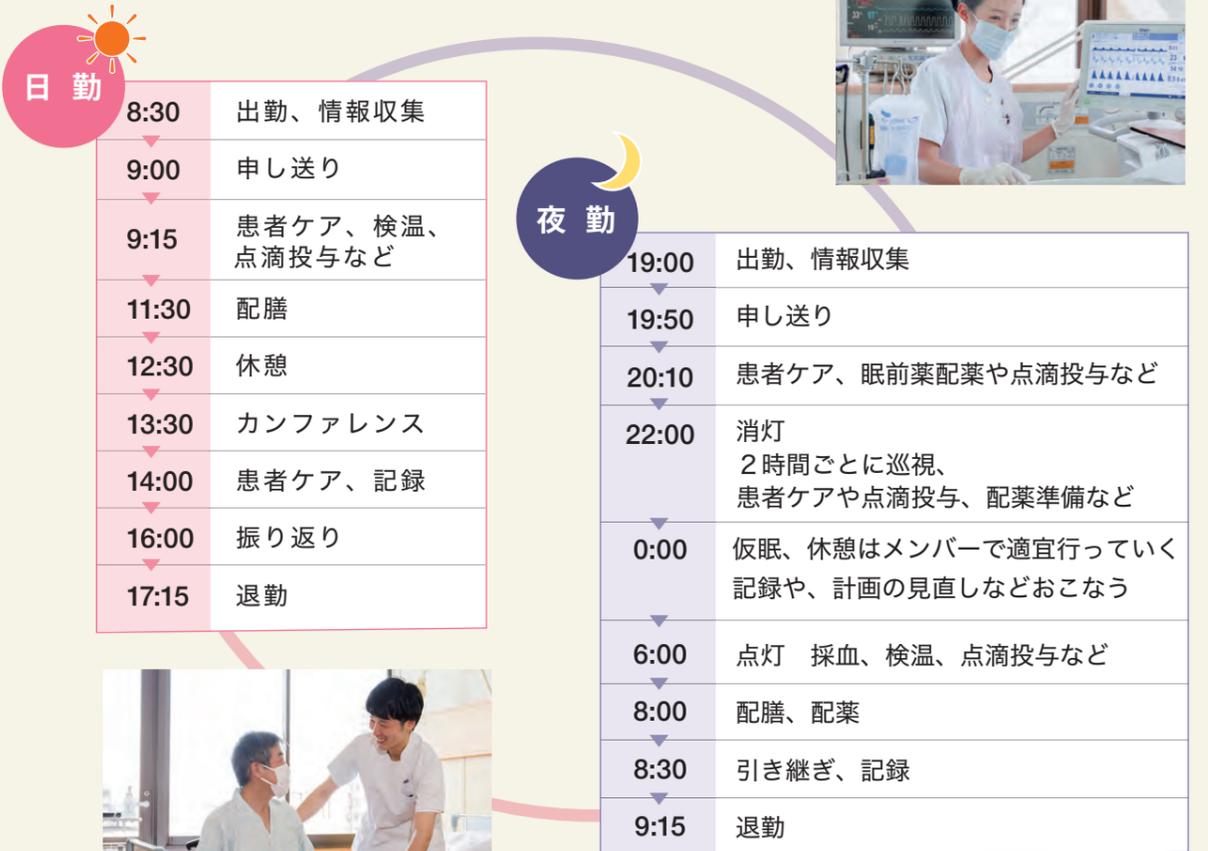
1,2階 外来

外来看護師は初回診察から入院、治療、退院後等の多くの場面で継続的に看護介入し、患者さんに寄り添うことで信頼関係を築いています。また、地域医療を担う病院としての役割も担っており、患者さんが住み慣れた地域でその人らしく最期まで暮らす事が出来るように、在宅療養指導や地域連携の強化に努めています。



2交替の勤務体制
を採っています。

新人看護師の1日の流れ



看護の専門職として 誇りを持って生き活きと働くために



1. 国立病院機構の役割を果たすために 求められる看護師としての能力

国立病院機構の役割を果たすために求められる看護師の能力として、下記の6点があります。高い倫理観に基づき、国立病院機構の看護師として誇りを持って生き活きと働き、役割を果たせるよう、自己の能力を開発していきましょう。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1) 高度な専門的知識・技術を有し、主体的に実践できる | A rt, T heory |
| 2) 高い倫理観に基づいた、質の高い看護の提供ができる | C aring |
| 3) 多職種と協働し、看護の役割を発揮する | T eamwork |
| 4) 病院経営に参画でき、看護におけるマネジメントができる | C oordinate |
| 5) 後輩と共に学び合い、自律した看護職になる | C oaching |
| 6) 臨床看護研究ができる能力を有し、看護を創造する | C reate |

2. 大阪医療センターの教育について

【現任教育の理念】

国立病院機構では、「患者の目線に立って親切丁寧に医療を提供する」という理念を掲げており、この理念を看護実践という形で行動に移していかなければなりません。そのために、大阪医療センターでは、「看護職員能力開発プログラム」に基づいた教育のほか、各委員会やプロジェクト、副看護部長、認定看護師が主体的に研修を行い、機会教育(OJT)と集合教育を通して段階的に学べるよう教育体制を整理しています。

【教育目標】

- (1)国立病院機構大阪医療センターの使命と役割を理解し、自信をもって行動できると共に社会のニーズに対応する看護が実践できる知識・技術・態度を育む。
- (2)専門職業人としての誇りと責任を持ち、自己実現を目指すことのできる看護師を育成する。

Message

看護部長

西本京子

看護は24時間365日、切れ目なくケアや診療の補助を実践する仕事です。看護の専門職として学ぶ姿勢を持ちつつ、それぞれ異なる対象の思いを尊重しながら、より良い療養生活ができるよう取り組んでいます。

また、看護職は、「感情労働者」自己の健康に気を付けながら、ケアをする人、受ける人が共に「笑顔」になれる看護実践を目指しています。確かな技術、思いやる心を大切に、看護職として最初の一步を当センターから始めてみませんか。



3. 病棟全員で新人の成長を応援する 「屋根瓦方式」の教育制度

当センターの教育体制は屋根瓦式教育体制で、教えられた側が次は教える側に回り、先輩看護師がOJTの中で看護実践の場面を通して後輩看護師を指導します。

すぐ上の先輩が後輩を教えることで自身の能力を向上させ、屋根瓦のように支えあいながら積み上げていきます。新人看護師は、疑問や不安に思うことがあればいつでも誰にでも聞くことができ、病棟にいるたくさんの経験豊富な先輩看護師の看護を学ぶことができます。

個々の能力開発ができるプログラムを用意し、一人ひとりの成長を応援します

新採用者職員 オリエンテーション

- 医療安全 ● 感染管理
- 電子カルテ操作
- 与薬演習
- 輸液ポンプ/
シリンジポンプ/
点滴管理
- 酸素療法/吸引
- 肺血栓塞栓症予防
- 採血



看護職員能力開発プログラム

レベル I

- 1か月の振り返り ● BLS
- 報告・連絡・相談/優先順位の考え方
- 災害看護
- 末梢点滴の穿刺方法

- フィジカルアセスメント
- メンタルヘルスケア
- 看護倫理
- 2年目への準備



レベル III・IV

- 医療安全 ● 看護教育
- 看護マネジメント/業務改善
- 意思決定支援 ● 地域包括ケア/多職種協働
- 危機管理

レベル II

- コミュニケーションスキル
- 看護過程の展開
- 災害看護
- ラダーレベルIIIへの準備



レベル V

- 幹部看護師任用候補者研修
- 看護研究 ● 経営参画

人材育成の考え

【ラダーからジャングルジムへ】

登るか、降りるしかない、ただまっすぐのはしごを上っていくのではなく、時には横に移動したり、一段降りてみたり、途中で休んでみたり。まるで「ジャングルジム」のように、様々な方向から、自分のペースで経験を積んで、それぞれの目標に到達できるような教育を実践する。看護の道を進む過程で、迷ったり、行き詰ったりすることがあっても、看護への情熱を持つ看護師を育成したいと考える。そのために、大阪医療センターでは、それぞれの看護師が目指す看護を実現するために、能力開発プログラムに基づいて、一人ひとりの成長を応援します。



トレーニングセンター 匠 たくみ



全職員が24時間利用できるスキルラボを併設。シミュレーター人形や看護処置に必要な物品を備えています。自分の空いている時間を活用しながら、看護ケア(採血、吸引、ACLS等)のスキルを向上できます

新人看護師1年目の勤務表

月	火	水	木	金	土	日
4月			1 日勤	2 日勤	3 休み	4 休み
			集合オリエンテーション			
5 日勤	6 日勤	7 日勤	8 日勤	9 日勤	10 休み	11 休み
集合オリエンテーション						
12 日勤	13 日勤	14 日勤	15 日勤	16 日勤	17 休み	18 休み
集合オリエンテーション		病棟オリエンテーション				
19 日勤	20 日勤	21 日勤	22 日勤	23 日勤	24 休み	25 休み
病棟オリエンテーション						
26 日勤	27 日勤	28 日勤	29 日勤	30 日勤		
病棟オリエンテーション			研修			

月	火	水	木	金	土	日
5月					1 休み	2 休み
3 祝日	4 日勤	5 祝日	6 日勤	7 日勤	8 休み	9 日勤
			受け待ち(フォローあり)			受け待ち(フォローあり)
10 日勤	11 長日勤	12 夜勤	13 明け	14 休み	15 休み	16 日勤
受け待ち(フォローあり)	長日勤体験:シャドー					受け待ち(フォローあり)
17 代休(5/4)	18 長日勤	19 夜勤	20 明け	21 休み	22 日勤	23 休み
	長日勤 夜勤オリエンテーション					
24 日勤	25 長日勤	26 夜勤	27 明け	28 休み	29 日勤	30 長日勤
	長日勤 夜勤オリエンテーション					長日勤
31 夜勤	1 明け					
夜勤オリエンテーション						



専門・認定看護師紹介

様々な専門性をもった認定看護師と
コーディネーターナースが在籍、
専門分野の看護の質向上を目指しています

専門看護師:1名 認定看護師:19名 コーディネーター:12名

診療看護師(JNP):7名

日本DMAT隊員:7名 大阪DMAT隊員:2名

サポート

看護師宿舎

宿舎完備、通勤至便！
大阪医療センター内に立地



法円坂宿舎

- ワンルームタイプ (21,64m²)
- オートロック
- 設備:
IHクッキングヒーター
エアコン、洗濯機

宿舎使用料 16,200円
月～金は管理人が常駐

ワークライフバランスを応援！

職員が仕事と子育ての両方に悩むことなくキャリア形成できるように、
貴重な人材が損なわれないように、様々な制度を準備しています。



★年間を通してリフレッシュ休暇を取ることができます





交通のご案内

- 大阪市営地下鉄をご利用の場合
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車
11番出口すぐ
- 大阪市営バスご利用の場合
大阪市営バス
「国立病院大阪医療センター」下車
- お車の場合
阪神高速道路環状線・東大阪線
法円坂ランプ



資料のご請求・お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **大阪医療センター 看護部**
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14
TEL.06-6942-1331
<https://osaka.hosp.go.jp>



*Osaka national Hospital
Department of
Nursing*





交通のご案内

- 大阪市営地下鉄をご利用の場合
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車
11番出口すぐ
- 大阪市営バスご利用の場合
大阪市営バス
「国立病院大阪医療センター」下車
- お車の場合
阪神高速道路環状線・東大阪線
法円坂ランプ



資料のご請求・お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **大阪医療センター 看護部**

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6942-1331

<https://osaka.hosp.go.jp>

